



2024年3月25日

各位

会社名 株式会社 i s p a c e  
代表者名 代表取締役 CEO 袴田 武史  
(コード: 9348 東証グロース市場)  
問合せ先 取締役 CFO 野崎 順平  
(TEL. 03-6277-6451)

## 発行価格等の決定に関するお知らせ

2024年3月13日開催の取締役会において決議いたしました、海外募集による新株式発行（以下「本海外募集」という。）に関し、発行価格等が下記のとおり決定されましたので、お知らせいたします。

### 記

(1) 発行新株式数	(注) 1.	10,250,000株
(2) 発行価格（募集価格）	(注) 2.	1株につき 871円
(3) 発行価格（募集価格）の総額		8,927,750,000円
(4) 払込金額	(注) 2.	1株につき 815.39円
(5) 払込金額の総額		8,357,747,500円
(6) 増加する資本金及び 資本準備金の額	増加する資本金の額	4,178,873,750円
	増加する資本準備金の額	4,178,873,750円
(7) 払込期日		2024年3月28日（木）
(8) 受渡期日		2024年3月29日（金）

(注) 1. 本日付「海外募集に係る発行新株式数の変更に関するお知らせ」において、2024年3月13日開催の取締役会において決議した募集株式数から本海外募集に係る発行新株式数（引受株式数）が変更される旨公表いたしました。最終的な発行新株式数（引受株式数）については上記のとおり確定しております。

2. 引受人は払込金額で買取引受けを行い、発行価格（募集価格）で募集を行います。

ご注意：この文書は、当社の海外募集による新株式発行に関して一般に公表するための発表文であり、日本国内外を問わず、投資勧誘又はそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。本文書は、米国における証券の募集を構成するものではありません。1933年米国証券法に基づいて証券の登録を行うか又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことは出来ません。米国において当該証券の公募を行う場合には、当社及びその経営陣に関する詳細な情報並びに当社の財務諸表を記載し、当社から入手できる目論見書によって行うこととなりますが、本件においては米国内で公募又は公への販売は行われません。この文書の米国内での配布は禁止されています。

## 【ご参考】

### 1. 発行価格（募集価格）の算定

(1) 算定基準日及びその価格	2024年3月25日（月）	967円
(2) ディスカウント率		9.93%

### 2. 今回の増資による発行済株式総数の推移

現在の発行済株式総数	82,698,563株	（2024年1月31日現在）（注）
本海外募集による増加株式数	10,250,000株	
本海外募集後の発行済株式総数	92,948,563株	

（注）当社は新株予約権を発行しているため、2024年1月31日時点の数値を記載しております。

### 3. 今回の調達資金の使途

本海外募集による手取概算額8,076百万円については、以下の通り充当する予定です。

#### ① 当社米国法人への投融資資金（2025年11月までに7,069百万円）

当社の連結子会社である ispace technologies U.S., inc. に対して投融資を行い、主にミッション3で利用するリレー衛星2基の購入代金の一部として1,829百万円、同ミッションで利用する Space Exploration Technologies Corp.（以下「SpaceX社」という。）のファルコン9の打上代金の一部（※）として2,081百万円、同ミッションのランダー製造費用の一部として3,159百万円を充当する予定であります。

ミッション3で利用する2基のリレー衛星は、Blue Canyon Technologies Inc. が製造し、Advanced Space, LLC が運用をサポートする予定です。月周回軌道に投入した2基のリレー衛星は、ミッション3の実施完了後も、当社の通信インフラとして一定期間に亘り活用が可能であるため、同様の地点に顧客ペイロードを輸送するニーズがある場合、後続のミッションにおける受注獲得に当たっての大きなアドバンテージとなることが期待されます。

ミッション3で利用する打上業者は、ミッション1及びミッション2と同様、打上業者の中でも多数のロケット打上げを行い、成功確率においても信頼性の高い実績を持つ SpaceX社を選定しております。ファルコン9は SpaceX社により開発された中型ロケットであり、同規模の他社ロケットの打上代金と比較し安価であり、市場において大きなシェアを獲得しております。

ミッション3の APEX1.0 ランダー（旧 Series 2 ランダー）は、2026年の打上げ予定に向けて、開発は順調に進捗していると考えております。2023年4月に当社初の月ミッションを行った旧 Series 1 ランダーから得られたデータやノウハウを活用し、更なる性能の強化を目指し、開発を加速させてまいります。

（※）当社ランダーを搭載し、成層圏外まで運搬するためのロケット利用代金

#### ② その他運転資金（2025年3月までに1,007百万円）

今後予定しているミッションの開発に係る部材の購入費や人件費等、事業運営に必要となる運転資金に充当する予定です。

ご注意：この文書は、当社の海外募集による新株式発行に関して一般に公表するための発表文であり、日本国内外を問わず、投資勧誘又はそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。本文書は、米国における証券の募集を構成するものではありません。1933年米国証券法に基づいて証券の登録を行うか又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことは出来ません。米国において当該証券の公募を行う場合には、当社及びその経営陣に関する詳細な情報並びに当社の財務諸表を記載し、当社から入手できる目論見書によって行うこととなりますが、本件においては米国内で公募又は公への販売は行われません。この文書の米国内での配布は禁止されています。

なお、詳細につきましては、2024年3月13日付で公表いたしました「海外募集による新株式発行に関するお知らせ」及び本日付で公表いたしました「海外募集に係る発行新株式数の変更に関するお知らせ」をご参照ください。

以 上

ご注意：この文書は、当社の海外募集による新株式発行に関して一般に公表するための発表文であり、日本国内外を問わず、投資勧誘又はそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。本文書は、米国における証券の募集を構成するものではありません。1933年米国証券法に基づいて証券の登録を行うか又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことは出来ません。米国において当該証券の公募を行う場合には、当社及びその経営陣に関する詳細な情報並びに当社の財務諸表を記載し、当社から入手できる目論見書によって行うこととなりますが、本件においては米国内で公募又は公への販売は行われません。この文書の米国内での配布は禁止されています。